



## 国営事業地区探訪

# 海、山、川に恵まれた「八代平野地区」の更なる発展を目指す 排水システムの再編、排水機場の統廃合及び耐震化対策

加藤清正公が着手した干拓から生まれた「八代平野地区」はトマト等の高品質な農産物の生産で有名、現在では、「食」をテーマに新商品の開発やフードドライブ等のSDGsに取り組んでいる。本地区では、前歴事業完了後45年を経過した平成30年から更新事業が着手されており、今回、本事業の責任者である八代平野農業水利事業所の松永二郎所長と北新地排水機場建設工事を担当する佐藤工業株式会社の千葉邦康所長にお話を伺った。

—— 本日は、よろしくお願ひいたします。はじめに、松永所長にお願ひします。これまでの職歴と当地に転勤された時の印象をお願ひします。

松永所長 昭和六十三年四月の入省以来、九州管内の現場と農政局に勤務しました。その間、三回の管外出向を経験しました。

—— 当地に転勤した時の印象は、高速道路ICを下りてすぐ目に入る大きな煙突が立ち並ぶ工業地帯。それと隣接して広がる平坦な農地、コメ、麦、い草、野菜、果樹など作付作物の多様さ、また、春先の農業用水路の水量の多さでした。

—— 次に、千葉所長、お願ひいたします。これまで、どのような工事現場を経験されたのでしょうか。

また、北新地排水機場建設工事を担当することになった時の印象をお聞かせください。

千葉所長 平成五年四月の入社以来、東京支店に配属され携わった工事は開削駅部の地下鉄工事とか鉄道の高架橋工事、河川工事、東京湾の海上工事と主に都市部の工事を経験しました。今回、農業水利事業は担当するのは初めてで、日本の食生活を支える重要な工事だなと感じました。

また、農家の方々の機械化された作業風景、コメだけでなくトマトやスナップエンドウなど現代の食生活に合わせた作物が栽培されていることを実際に自分の目で見て、深く感銘を受けました。

### 加藤清正公ゆかりの八代平野の歴史

—— ありがとうございます。では、最初に、松永所長から、今回、探訪させていただく八代平野地区について紹介して下さい。

松永所長 八代市は、九州の中央部、熊本市の南

側四〇kmに位置し、約六八〇km<sup>2</sup>の面積を有しています。東は宮崎県に境を接し、西は八代海を隔てて天草諸島を望みます。

全面積の約七〇%が山間地、約三〇%が平野部からなっており、平野部は日本三大急流の一つである球磨川などから流下した土砂が堆積してできた沖積平野と、藩政時代から行われてきた干拓事業により形成されています。八代平野の大部分は干拓によって造られ、地域全体の三分の二に及びます。

まず、干拓の歴史を詳しく紹介すると、この干拓を最初に着手したのが加藤清正公で、八代市の千丁町あたりを干拓し、この農地に必要な水は遙拝堰からの水でまかなわれました。江戸時代に入り、細川・松井の諸公は、藩自ら地先海面の干拓化を図り、一六五〇年から二五〇年間に約五、五〇〇haの新干拓地が造成されました。また、明治以降、県や郡、民間企業などにより終戦までに約二、五〇〇ha、終戦後に国営事業等で約一、二〇〇haの干拓が行われました。

次に農業用水についてですが、一三三五年頃、この地を治めていた名和義高が、莊園を守るため居城を八代市の古麓に築き、この城下に用水の取り入れ口として、球磨川に「杭瀬」を作ったと言われています。「杭瀬」というのは、杭を川の中に立て並べてしがらみにしたもので、加藤清正公が一六〇八年頃、この杭瀬を改修し、新たに石を用いた強固な堰の築造を計画し、「遙拝堰」と名付けます。

清正公は、流れの急な球磨川の水の圧力を直接受けたいようにするため、石は流れに向かって斜めに積む工夫を施しました。石積み堰の長さは

四〇〇mにおよび、漢字の「八」の字の形をした堰であることから、「八の字堰」とも呼ばれるようになりました。

八代市の観光としては、約六〇〇年の歴史を持つ「日奈久温泉」や平成二十八年にユネスコ無形文化遺産に登録された「妙見祭」などがあげられます。——ここ八代市にも清正公の足跡が残っていることを初めて知りました。では、次に、この八代平野の農業の現状と課題について教えて下さい。

**松永所長** この地区は、干拓地特有の土壌で、塩分濃度の高い特別な農地で、天然の塩分やミネラルを多く含んでいます。この土壌により、高糖度で味の濃いトマトができます。近年は、い草から露地野菜を中心とした作物転換が進んでおり、キャベツ、レタス、ばれいしょ、ブロッコリーなどが特に増加しています。

八代平野の農業の課題は、農業従事者の減少・高齢化の進行であり、今後とも食料供給の一大産地として農作物を安定的に供給できるよう、生産技術と供給体制の確立が必要となっています。

また、近年の夏季の高温、記録的な集中豪雨や大型台風などが生産の不安定化につながっており、気象災害に強い生産基盤の整備が必要となります。

### 湛水被害と大規模地震への対応が急務

——ありがとうございます。では、国営事業の話題に入りたいと思います。本地区は、昭和四十八年度に完了した国営八代平野土地改良事業により整備されたと聞いています。およそ五〇年前に完成した国営事業の事業概要や成果などを紹

介してください。

**松永所長** 前歴事業の「国営八代平野土地改良事業」は、昭和三十九年から四十八年度にかけて実施され、遙拝頭首工をはじめとした基幹的農業水利施設の造成を行い、併せて関連事業として県営事業等により末端用水施設の整備や排水施設等の整備を実施しています。用排水施設の整備により、野菜栽培における播種、定植期、成長期のほかに、干ばつや高温時といった異常気象の場合にも、必要な水を安定して供給できる環境が整いました。また、排水不良の解消が図られ、近年では水稲、



工事中の遙拝頭首工と八の字堰（ドローン）

い草、小麦、トマト、露地野菜等を組み合わせた複合経営が展開され、県内有数の野菜産地に発展しています。

——では、次に、現在の国営事業について話をお伺いします。この国営事業がスタートした背景や課題、本地区の事業計画についてお伺いします。

**松永所長** 本地区では、近年の降雨量の増加と土地利用の変化に伴う排水量の増加により、湛水被害が生じているとともに、一部のほ場が排水不良であるため、水田の畑利用に支障をきたしています。

また、頭首工や導水路では、必要な耐震性能を有していないことから、熊本地震のような大規模地震が発生し、これらの施設が損壊した場合は、地域に甚大な被害を及ぼすことが危惧されています。

さらに、経年的な施設の劣化により、排水機場ではポンプ設備の油漏れ、頭首工や幹線水路ではコンクリートの欠損や鋼構造物の腐食が生じているなど、排水機能と農業用水の安定供給に支障をきたしているとともに、維持管理に大きな費用と労力がかかっています。このため、本事業で、排水系統の再編と排水機場の統廃合を行うとともに、頭首工や幹線水路に対して、耐震化対策や老朽化対策を行い、関連事業で暗渠排水等を行い水田の汎用化を図ることにより、農業の生産性の向上、経営の安定・成長を目指しています。

——八代平野から八代海に注ぐ球磨川は、鮎や川下りで有名ですし、八代市内の川にはタナゴ等が生息しているそうですね。景観や生態系に対し、この国営事業ではどんな取り組みをしていくのでしょうか。教えてください。

**松永所長** 当地区では、関係機関の環境整備計画

等の配慮方針に従うことを基本として、国営事業の環境配慮計画を策定しています。

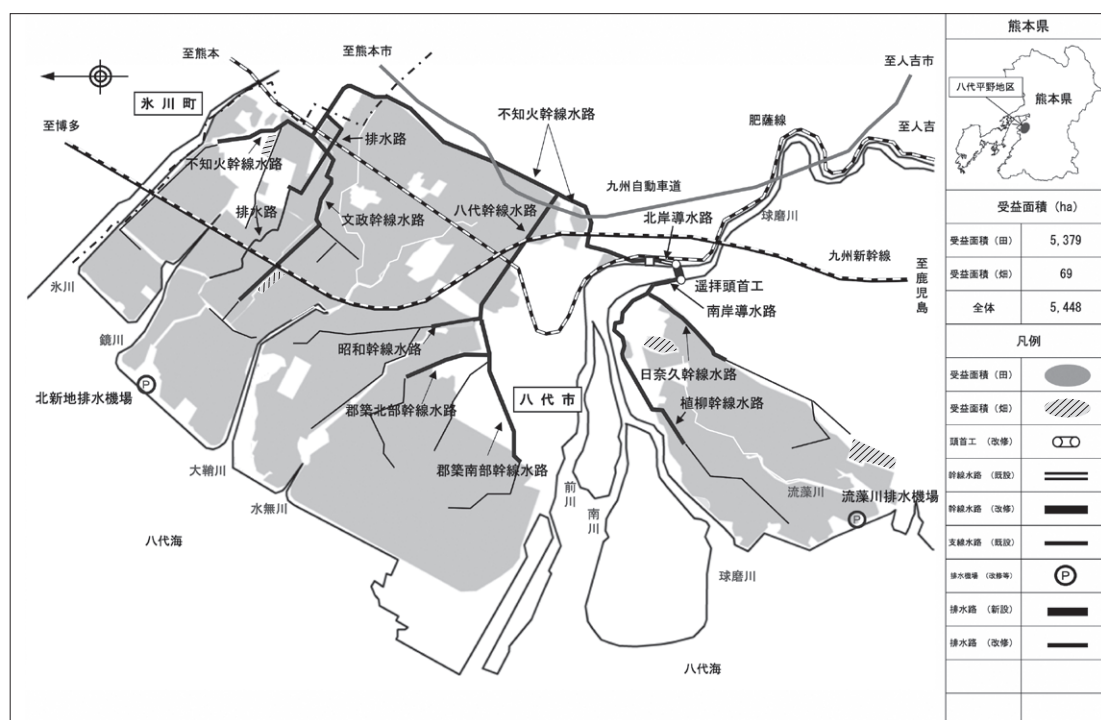
——拡幅を計画しています。鮎川排水路の一部の区間が、市の田園整備計画マスタープランにおいて「環境創造区域」に指定されていることから、工事に当たっては、水生生物、ヨシ類等のゾーンを新たに創設するため、多自然型の護岸とすることを計画しています。

また、昨年度は、地区内の小学校三年生に対して、環境パンフレットなどを使って地域の農業や農業用施設の役割、環境に関する出前授業を行いました。屋外では、地区内の排水路で採

取した生き物に触れあってもらいました。今後このような取り組みを継続したいと考えています。——素晴らしい取り組みですね。次にお伺いしたいのは、本地区特有の様々な地区事情があると思

八代平野地区 事業概要

|         |   |
|---------|---|
| 関係市町    | 熊本県八代市、八代郡氷川町（1市1町）   |
| 受益面積    | 5,448ha（水田 5,379ha、畑 69ha）<br>用水受益 5,379ha（水田 5,379ha、畑 -ha）<br>排水受益 2,658ha（水田 2,589ha、畑 69ha）<br>※排水受益の水田は用水受益と重複       |
| 主要工事    | 頭首工（改修） 1箇所（共同事業含む）<br>導水路（改修） L=0.5km（共同事業含む）<br>幹線水路（改修） L=33.6km<br>排水機場（新設） 2箇所<br>排水路（新設・改修） L=5.8km<br>水管理施設（新設） 一式 |
| 事業の予定工期 | 2018（H30）～2030（R12）年度（13年間）   |



八代平野地区 事業計画図



環境パンフレット（小学生向け）

います。本地区の工事発注において、発注者サイドとして重視している点についてお伺いします。

松永所長 「令和二年七月豪雨」の影響により、球磨川流域で多数の災害復旧工事が行われ、技術者不足の状況であったことから、工事の入札参加の地域要件や資格等級を広げ、余裕期間、精査積算方式、見積活用方式を積極的に活用するとともに、実際に受注された方の意見を極力取り入れ、次期工事の設計に反映させるようにしました。

——もう一点、教えて下さい。令和三年度から、並行して八代海岸保全事業も着手されています。同じ受益地を対象とした二つの国営事業が同時並

行で実施されていますが、工事の調整等はどういうになっているのでしょうか。

松永所長 本年一月には、近隣の宇城農地整備事業所を含めた国営三事業所による工事見学会を実施し、お互いの工事現場の安全対策などについて意見交換しました。今後、工事の発注計画、地元農家さんや関係機関との協議状況などについて、密接に情報共有を行い、より効率的に事業を推進できるようにしていきたいと考えています。

——所長の丁寧な説明で本地区の全体像が分かりました。ありがとうございます。では、次に、北新地排水機場の工事についてお伺いします。この国営事業における本工事の位置づけと本地区全体の整備スケジュールについて教えてください。

松永所長 本事業の目的の一つである「排水機能の向上による湛水被害の軽減」のため、本地区の北部及び南部地域に二基の排水機場の新設を計画しています。

北新地排水機場は、令和三年度から敷地造成工事に着手し、令和四年九月から本体土木の四ヶ年工事を佐藤工業さんと契約しています。今後は、ポンプ、ゲート等の機械設備工事の発注を予定しています。

一方、南部地域の流藻川排水機場は、令和四年度から工事用搬入道路工事に着手し、今後は、敷地造成、本体土木、機械設備工事等の発注を予定しています。遥拝頭首工は、令和三年度から水管理制御設備、令和四年度から左岸側の本体及び護床工、ゲート設備工事に着手しています。幹線用水路の補修工事は、令和元年度から着手し、令和四年度までで約六五%の進捗率です。

## 漁業関係者と地域情勢への対応

——お待たせしました。では、千葉所長にお伺いします。この工事現場の全貌を把握した時、第一印象はいかがでしたか。

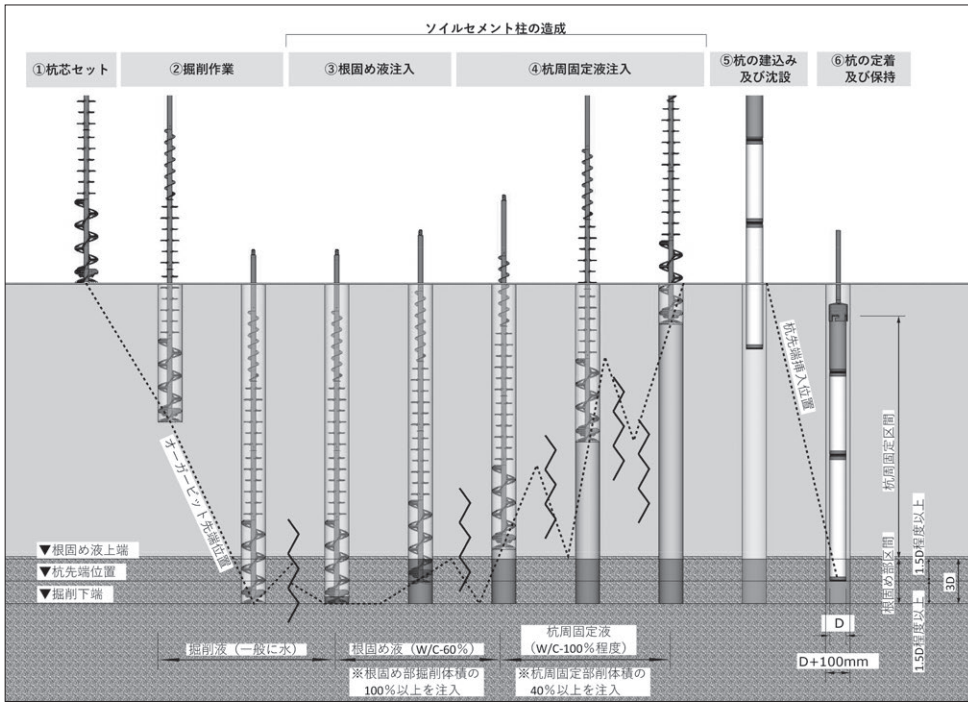
千葉所長 工事現場が八代湾に面しており、現場の近くにオイスターハウスという牡蠣の養殖場を併設している牡蠣小屋が有り、近隣の農家だけでなく漁業関係者にも配慮して工事を進めなければいけないと認識させられました。

——実際に工事を進めていくに当たって、重要となるポイントをお聞かせください。

千葉所長 鉄筋コンクリート造の排水機場を新規に造るに当たり、工事で発生する雑排水の濁水処理設備を配置して濁水管理を完璧に行い、潮遊池や八代湾に濁水を流さない事が一番大切です。また、マスコン対策を十分に行い品質の良いコンクリート構造物を築造することを考えています。

——工事を着工して、およそ一年が経過しようとしています。現時点での工事の進捗状況を教えてください。また、当面の安全確保や工程管理のための留意点はありますか。

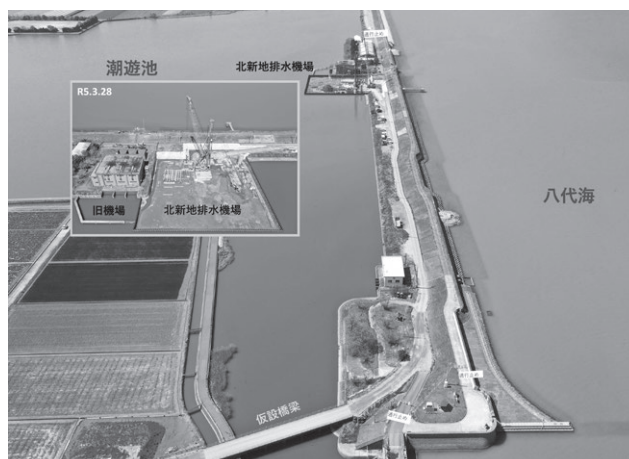
千葉所長 工事の進捗は既製杭工事が四月中旬で完了しました。既製杭は、プレボーリング工法という、オーガーにより予め削孔をします。その後、削孔した穴にモルタルを注入して、工場で製作した杭を所定の高さまで建込みます。既製杭については、現場には三分割で搬入し溶接により接合します。現場部においては、床掘作業を行った後は鉄筋組立・型枠組立及びコンクリート打設と人力作業が多くなるので作業に合った人員の確保を



基礎杭工事の標準施工順序



杭建込み状況



北新地排水機場周辺の全景 (R5.3.8時点)

確実にいき、工程の遵守に努めます。夏に向けて熱中症が懸念されるのでこまめな休憩や炎天下での作業にならないように作業時間の変更も考慮して作業員の健康管理にも配慮して行きたいと考えております。

——では、最後に、お二人の所長さんにお伺いします。工事を進めるに当って、本地区特有の現場

条件で苦勞されていることはありませんか。

松永所長 現場特有の条件としては、背後が農地、地先が漁場であり、農業者と漁業者への配慮が必要であることです。佐藤工業さんには、両者へ工事内容や施工方法などをていねいに説明し、理解と協力を得られるよう尽力していただいています。

また、最近の地域の情勢として、熊本県菊陽町

## SDGsを推進する八代市の「食」への取り組み

——ありがとうございます。引き続き、安全第一で工事を進めて下さい。工事の円滑な進捗と無事の完成をお祈り申し上げます。

さて、建設業界においても、SDGsの目標達成に向けた多種多様な取り組みが始まっていますが、佐藤工業(株)としての取り組みを紹介して下さい。

千葉所長 当社の経営理念は、三本の柱からなっており、社会から信用される企業像の確立、活力ある人材育成と人間尊重の経営推進、企業使命を果たし社会発展に寄与を掲げております。さらに、経営方針として、高品質・高付加価値の実現、信用の確立・適正利益の確保・堅実経営、経営の透明性・コンプライアンスの徹底、現場主義の徹底、安全・安心・快適な作業環境と健康の確保及び地域・地球環境の創造と保全の六つを挙げています。

また、SDGsの取り組みとして、全役職員にエコ検定の取得を推奨しています。

——ありがとうございます。八代市は、SDGs未来都市にも認定されていて、先進的な取組をスタートしていると存じます。どのような取り組みでしょうか。

**松永所長** 八代市は、内閣府より「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」に選定されたことを受け、人・企業・地域をつなぐ「SDGsフードマッチングプロジェクト」と題して、豊富な農産物による「食」をテーマに、特産品を活用した新商品の開発、フードドライブなどのモデル事業を通じて、SDGsの取り組みを推進しています。

また、「JAやつしろ」では、ミネラルが豊富な干拓土壌と、球磨川のきれいな水を使い減農薬で育てられたトマトと、八代市東陽町で育った品質の高いシヨウガを使用し、八代らしさをアピールしつつ地域農家を応援することを目的とした「はちべえトマトドレッシング」を、地元の食品会社と協力して開発しました。

### 「働き方改革」の着実な実行

——このような取り組みが実を結ぶことを期待しています。話題を変えさせてもらいます。近年、大きな関心事になっています「働き方改革」についてお伺いします。現状や取り組みの進捗について教えてください。

**松永所長** 「働き方改革」の取り組みとして、まず、余裕期間については、令和四年度のすべての発注工事について設定しました。令和五年度は、工事契約後、二週間以内に「工事円滑化会議」を開催し、会議後から三〇日以上余裕期間を確保する試行工事を予定しています。また、令和五年四月以降に入札公告を行うすべての工事について、「積算参考資料(工程表)」として概略工程表を参考配布することとしています。工事の一時中止について

は、「工事一時中止ガイドライン」(令和五年四月)に基づき、適切に運用していくこととしています。

——千葉所長さんにも同じ質問になります。受注者の立場から、一言お願いします。

**千葉所長** 同じことの繰り返しとなりますが、工事を進めるうえで近隣住民の方々のご理解を得るのが第一だと考えており、今後ともまめに工事の説明等を行ってまいります。また、発注者の方々は密に連絡を取り合い、円滑に工事を進めて行きたいと考えております。

——発注者と受注者にとって重要な「働き方改革」が着実に実行されていることに感謝申し上げます。最後に、このインタビューのまとめとして、八代市など地元関係者の皆様に向けたメッセージをいただけますでしょうか。

### PROFILE



まつなが じろう 所長  
**松永 二郎**

農林水産省九州農政局  
八代平野  
農業水利事業所

昭和39年長崎県生まれ。昭和63年3月鹿児島大学農学部農業工学科卒業後、同年農林水産省に入省。九州農政局管内の事業所、本局、農村振興局、水産庁に勤務。その間、パイプライン、ダム、潮受堤防、頭首工、海岸堤防などの現場に従事。地元の皆様の期待に応えられるよう、安全第一で事業を進めていきます。休日は、ソフトボール、ウォーキング(たまにジョギング)とその後のアルコールを楽しんでいます。

### 終わりに

発注者・受注者の双方の「働き方改革」が実現でき、働き甲斐のある職場になるように。また、事業が早期完了し地域農業が振興されていくとともに、関係市町の益々の発展に寄与していくことを願っています。本日は、長時間のインタビューありがとうございました。

**松永所長** 平成三十年の着工から六年目を迎え、事業は最盛期に差し掛かっています。

農業用水利施設の新設、更新、改修、耐震対策を早期に完成させ、本地区農業のさらなる発展につながるよう事業を推進してまいりますので、皆様からの、ますますのご理解、ご協力をお願いいたします。

### PROFILE



ちば くにやす 所長  
**千葉 邦康**

佐藤工業(株)九州支店  
北新地作業所

昭和41年東京都生まれ。平成5年3月日本大学工学部土木工学科卒業、同年4月佐藤工業に入社。東京支店に配属となり、地下鉄開削工事、鉄道高架橋工事、鉄道営業線近接工事、都市部の河川工事、東京湾の海上工事に従事。地元の皆様の期待に応えられるよう、安全第一を掲げ無事故無災害で工事を進めていきます。休日は、ウォーキングやドライブで地元八代の探索をしています。